

<2018年度『市場・業界及び技術動向セミナー』開催要領>

1. 開催日時: 2018年10月24日(水) 13:30~17:00 (受付開始 13:00)
2. 会場: 投資育成ビル 7F 701号室
(渋谷区渋谷 3-29-22) (03-5469-5870)
(JR 渋谷駅 新南出口より右手方向に徒歩2分)
3. 主催: 一般社団法人 日本半導体商社協会(DAFS) セミナー委員会
後援: 経済産業省
一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)、
一般社団法人 日本電子デバイス産業協会 (NEDIA)
4. 演題・講師/略歴・講演要旨:

・第1部 (13:40~15:10) (90分)

演題: 「すぐそこまで来ている自動運転自動車の実用化と半導体市場へのインパクト」

講師: IHS グローバル株式会社

調査部 ディレクター

南川 明氏

講演要旨: 巷では電気自動車の話題で持ちきりである。しかしEVよりも自動運転の普及がもたらす需要変動の方が半導体業界への影響が大きい。

今後のEV化、自動運転が半導体業界に与える影響を定量的に分析すると共に、OEM各社の自動運転開発の最新動向を紹介する。

講師略歴:

現在	IHS グローバル株式会社 IHS Technology 調査部ディレクター
2012年12月	IHS グローバル株式会社に社名変更
2010年11月	米IHSの傘下に入り、IHS アイサプライジャパンとなる
2006年12月	米アイサプライ社と合併
2004年7月	株式会社データガレージ設立
2003/4-2004/2	クレディーリヨネ証券会社 調査部 テクノロジーヘッド&シニア・アナリスト
2000/6-2003/4	WestLB 証券会社 調査部 ディレクター&シニア・アナリスト
1996/1-2000/5	IDC Japan 株式会社 ディレクター
1990/5-1995/12	ガートナー ジャパン株式会社 データクエスト 半導体産業分析部 シニア・アナリスト
1982/4-1990/5	モトローラ株式会社/Hong Kong Motorola Marketing specialist
1982/3	武蔵工業大学 電気工学科卒業 自動制御専攻

JEITAでは10年間に渡り、世界の電子機器と半導体中長期展望委員会の中心アナリストとして従事する。定期的に台湾主催の半導体シンポジウムで講演を行うなどアジアでの調

査・コンサルティングを強化してきた。

講演活動&執筆活動

JEITA、半導体産業新聞、SEMI Japan（日本、韓国、台湾など）、電子ジャーナルなどのセミナーで定期的に講師として講演を行っている。半導体産業新聞、電子ジャーナル、日経マイクロデバイスでも連載記事を執筆。その他、メディアでも記事の執筆やTV出演などの広報活動も精力的に行う。

(休憩 : 20分)

・第2部 (15:30~17:00) (90分)

演題： 『**LiDARを超えるLiDAR—自動運転を支えるキーデバイスの進化**』

講師： 日経BP社 日経 xTECH/日経エレクトロニクス編集

副編集長

三宅 常之 氏

講演要旨： 自動運転を支える車両周辺の認識センサー技術の開発は、第2幕に入った。カメラ、LiDAR、ミリ波レーダーなど、空間を3次元認識する3種類のセンサーの開発現場では、従来技術の延長線上にない最新技術の提案が相次いでいる。2020年前後の実用化を目指す自動運転車両向け第1世代品は、3種類のセンサーを高性能化した進化版になりそうだが、その後の第2世代センサーは3種類のセンサーの良いところ取りをして、非連続な進化を遂げそうだ。

講師略歴：

- 1992年日経BP社入社。
- 「日経エレクトロニクス」編集部に配属。日経マイクロデバイス編集部へ移り、MEMS分野のクロスメディア「MEMS International」創刊。
- 日経アーキテクチュア、日経テクノロジーオンライン（現・日経クロステック）を経て現在に至る。
- センサーやMEMS、センサーデータの扱いを執筆。これまでに、無線通信、信号処理、知財、組み込みソフト、不揮発性メモリー、自動車、携帯電話・スマホなどを担当。

5. 受講対象者：

DAFS 会員及び関連団体会員（JEITA、NEDIA、SSIS 等）、他エレクトロニクス分野の業務に従事されている方、または同分野に関心をお持ちの方であればどなたでも受講可能です。

6. 参加費(消費税込み)： 10,000 円／1 人（当日現金支払い、領収書発行）

7. 受講申し込み：添付の申込書に記入の上、DAFS 事務局（dafs@dafs.or.jp）宛てお申し込みください。会場の都合により定員(50名)になり次第締め切りますのでお早めにお申し込みください。

以上